



2023 年 3 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社 ひろぎんホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 部谷 俊雄
(コード番号 7337 東証プライム)
問 合 せ 先 経営企画部 経営企画グループ
主計課長 中室 篤
(TEL 082-245-5151)

2023 年3月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023 年3月期の連結業績予想の修正(2022 年4月1日～2023 年3月 31 日)

	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	37,000	25,000	80.49
今回修正予想 (B)	18,500	12,500	40.21
増 減 額 (B－A)	△18,500	△12,500	
増 減 率 (%)	△50.0	△50.0	
(ご参考)前期実績 (2022 年 3 月期)	27,070	22,906	73.75

(ご参考)

株式会社広島銀行の 2023 年3月期の個別業績予想の修正(2022 年 4 月 1 日～2023 年3月 31 日)

	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	33,500	23,000
今回修正予想 (B)	16,000	11,500
増 減 額 (B－A)	△17,500	△11,500
増 減 率 (%)	△52.2	△50.0
(ご参考)前期実績 (2022 年 3 月期)	22,882	20,660

2. 修正の理由

2023年3月期第3四半期連結累計期間において、保有株式の株価下落等に伴う減損損失を計上しておりますが、現時点で株価の回復が見込まれず、減損損失の計上が確定する見込みが高まったことに加え、有価証券ポートフォリオの再構築に向けて、収支が逆ザヤとなっている外国債券を中心に売却を進めるなか、現時点の損失見込みを考慮した結果、2023年3月期通期連結業績予想の修正を行うものです。

2023年3月期の期末配当予想は、上記要因を除く本業の業績は堅調に推移しており、計画を上回る見込みであることから、2022年11月11日公表の通り、当社が設定する配当目安テーブルに関わらず、1株当たり13円50銭(中間配当とあわせて年間27円)といたします。

なお、2023年3月末の連結自己資本比率については、2022年3月末から上昇し、11%を上回る水準となる見込みです。

また、本日開催の取締役会において、当社グループの2023年度経営計画を決議いたしました。

2023年度計画においては、グループ連携の更なる強化、地域・お取引先の課題解決に係るソリューションの高度化および構造改革による収益分野等への資本の重点配賦に注力することに加え、安定的かつ継続的に高い収益が確保できる有価証券ポートフォリオの構築により、現中期経営計画「中期計画2020」の最終年度における経営目標である親会社株主に帰属する当期純利益270億円超の達成を見込んでおります。

(ご参考)2023年度経営計画

・HD 連結

(単位:億円)

	2023年度	
	計画	前年比
経常利益	395	210
親会社株主に帰属する当期純利益	275	150

・広島銀行単体

(単位:億円)

	2023年度	
	計画	前年比
経常利益	365	205
当期純利益	260	145

(注) 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる場合があります。

以 上